

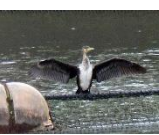




企画名	金山落（今井の桜並木）生き物観察会																																																																	
実施団体	団体名 今井の桜保全プロジェクト 問合せ先 白井市白井コミュニティセンター 山崎 雅由 TEL: 047-491-1505 E-mail: mail@shiroi-com10.com																																																																	
目的	市内を流れる金山落今井地区の生き物を採捕観察し、小学生親子に馴染みの薄い手賀沼に関心を持ってもらうとともに、今井の桜並木の保全が急務であることを知ってもらう。																																																																	
日時	2017年9月24日（日）9：30～11：30																																																																	
プログラム・概要・ルート等	①白井市環境課 川上利一課長挨拶 ②講師の紹介 鈴木規慈さん（千葉県生物多様性センター） ③魚とり開始 ・カゴ網（モンドリ）、四手網を金山落に仕掛ける ・タモ網を使い、周辺の用水路の魚やエビを採捕する。 ・仕掛けたかご網（モンドリ）を引き揚げる。 ④生き物観察 ・講師の指導のもと、各自種類ごとに仕分けし、「生きものしらべ報告書」に記入する。 ・採捕した生き物を観察し、講師の説明を聞く。 ⑤白井市環境課の説明に従い、参加者が川の水質調査（パックテスト）を行なう。（未） ⑥今井の桜並木保全について説明（今井の桜保全プロジェクト）																																																																	
参加対象	小学生の親子 15組																																																																	
参加人数	一般参加 37名（大人19名、子ども18名） 会員スタッフ 10名（会員5名、講師1名、市環境課3名、お手伝い1名）																																																																	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  <p>どんな魚が入っているかな</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>金山落にカゴ網を仕掛けます</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>用水路にタモ網でガサガサ！</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;">  <p>腹鳍は吸盤状だ！</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>捕った生き物を先生と観察します</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;">  <p>アメザリのお腹に卵がいっぱい！</p> </div> <div style="width: 30%;">  </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>つかまえた生き物</th> <th>タモあみ</th> <th>モンドリ</th> <th>捕まえた生きもの</th> <th>タモあみ</th> <th>モンドリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テナガエビ</td> <td>1</td> <td>41</td> <td>タイクバラタナゴ</td> <td>0</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>スジエビ</td> <td>68</td> <td>371</td> <td>カダヤシ</td> <td>63</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>モツゴ</td> <td>1</td> <td>43</td> <td>ブルーギル</td> <td>0</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>タモロコ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>アメリカザリガニ</td> <td>21</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ギンブナ</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>トウキョウダルマガエル</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ツチフキ</td> <td>0</td> <td>18</td> <td>ニホンアマガエル</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ヌマチチブ</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>オタマジャクシ(ウシ)</td> <td>14</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ヨシノボリ</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>シナヌマエビ</td> <td>28</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ドジョウ</td> <td>47</td> <td>0</td> <td>タニシ</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>							つかまえた生き物	タモあみ	モンドリ	捕まえた生きもの	タモあみ	モンドリ	テナガエビ	1	41	タイクバラタナゴ	0	23	スジエビ	68	371	カダヤシ	63	0	モツゴ	1	43	ブルーギル	0	10	タモロコ	0	0	アメリカザリガニ	21	1	ギンブナ	3	0	トウキョウダルマガエル	1	0	ツチフキ	0	18	ニホンアマガエル	1	0	ヌマチチブ	4	4	オタマジャクシ(ウシ)	14	0	ヨシノボリ	3	2	シナヌマエビ	28	0	ドジョウ	47	0	タニシ	4	0
つかまえた生き物	タモあみ	モンドリ	捕まえた生きもの	タモあみ	モンドリ																																																													
テナガエビ	1	41	タイクバラタナゴ	0	23																																																													
スジエビ	68	371	カダヤシ	63	0																																																													
モツゴ	1	43	ブルーギル	0	10																																																													
タモロコ	0	0	アメリカザリガニ	21	1																																																													
ギンブナ	3	0	トウキョウダルマガエル	1	0																																																													
ツチフキ	0	18	ニホンアマガエル	1	0																																																													
ヌマチチブ	4	4	オタマジャクシ(ウシ)	14	0																																																													
ヨシノボリ	3	2	シナヌマエビ	28	0																																																													
ドジョウ	47	0	タニシ	4	0																																																													
参加者や実施団体の感想	参加者/見たことない種類の名前がわかってうれしかった。先生方の説明が楽しかった。/思っていたよりも生き物がいてビックリしました。子どもが生き生き楽しそうで、参加してよかった。/子どもにとっても良い体験であり、小学校でも実施されたら良い。 実施団体/今年はお膳立てを控え参加者に協力を仰ぎ行った。参加者に良い影響をもたらした。/予想外に多くの生き物が捕れたため、観察に時間がかかり、やむなく水質調査は中止した。/ウナギの仕掛けを何度も試作し当日臨んだが、1匹も捕れなかった。																																																																	

企画名	ぐるっと一周平塚の里		
実施団体	団体名 NPO法人しろい環境塾 問合せ先 興津 功 TEL: 047-404-3298 Email: shiroikakyojuku@kce.biglobe.ne.jp ホームページ: http://kankyojuku.sunnyday.jp/		
目的	手賀沼等里山自然を保護や寺社文化財等を次世代に引き継ぐための市民の役割を考える。		
日時・場所	2017年11月25日(土) 10:15~12:30		
プログラム・概要・ルート等	<p>【プログラム概要】 白井市平塚地区では、日本の原風景である里地里山が残されている。その里山が持つ特徴①谷津田のもつ歴史②下手賀沼の歴史と役割③平塚地区の歴史、文化、風習について、郷土史家の案内でこの地区をそぞろ歩きした。 散策を通して、①里山保全のための市民の活動実績を知る。②里山の自然を次世代に引き継ぐために何をなすべきか、市民の役割について考える。③寺社、文化財、歴史等を堪能する等の機会とした。</p> <p>【ルート等】 10時15分 延命寺北側ベースキャンプ出発⇒延命寺⇒鳥見神社⇒八幡神社 ⇒下手賀沼眺望⇒瀧田家(国重要文化財)⇒「舟戸」の歴史⇒カンナ街道 ⇒ベースキャンプ着12時30分</p>		
募集対象	一般市民		
募集人数	一般参加 10名 会員スタッフ 3名 (会員2名、講師1名)		
	 <p>延命寺</p>	 <p>十九夜観音菩薩</p>	 <p>八幡神社への古道</p>
	 <p>向台から下手賀沼を眺望</p>	 <p>向台集会所前子安観音菩薩</p>	 <p>瀧田家(国重要文化財)</p>
参加者や実施団体の感想	昨年は雨天で中止となったが、講師は、引き続き地元の郷土史家を招聘した。応募人数は13名。当日参加10名(欠席3名)の散策となった。参加者は講師の説明に熱心に耳を傾け、質問も多く出された。そのため後半はやや足早になってしまい下手賀沼土手の散策ができなかったのが残念。終了後、参加者は白井市平塚地区の景観の保護の大切さ、地元農家の努力、谷津の保全活動に取り組む各種団体の活動に感銘を受けていた。		

<p>企画名</p>	<p>亀成川 生きもの観察会</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 亀成川を愛する会 問合せ先 亀成川を愛する会 事務局 TEL: 080-3594-6267 Email: kamenarilove@yahoo.co.jp ホームページ: http://www.kamenari-love.com/</p>
<p>目的</p>	<p>2011年に保全再生作業を行った区域に生きものがどのくらい戻ってきているか観察し、亀成川の生物多様性に富んだ貴重な自然を保全する大切さを実感する。</p>
<p>日時</p>	<p>2017年7月30日(日)9:30~12:00 亀成川本流と支流の古新田川合流部(保全再生区域)</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>集合 印西中学校駐車場 9:00 受付開始 3つに班分け、網、バケツ配布 9:30 開会の挨拶 (副会長) 講師紹介 萩原富司氏(土浦の自然を守る会) 諸澤崇裕氏(土浦の自然を守る会) 依田彦太郎氏(NPO 法人四街道メダカの会) 本日の日程、注意事項説明 9:45 各班活動場所(亀成川古新田橋~和田戸第一橋)へ移動 10:00 魚とり開始 班ごとに講師の指導を受け、親子でサデ網やタモ網を使って魚などを採捕する。 10:50 観察(講師による説明) 11:20 集合写真撮影 11:30 閉会 各自集合場所へ戻り解散 12:00 撤収完了</p>
<p>参加対象</p>	<p>小学生(親子で)から大人</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 40名 (大人20名、子ども20名) 会員スタッフ13名 (会員7名、講師3名、手伝い3名)</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>さあ！始まるよ！</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>講師の先生に「これなあに？」</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>魚をジャブジャブ追い込んで！</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>木陰で生きもの観察</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>全員集合</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> 捕れたのは、ヨシノボリ、オイカワ、ドジョウ、ヌマチチブ、フナ、ツチフキ、タイリクバラタナゴ、オオクチバス、ブルーギル、カダヤシ、タイコウチ、ミズカマキリ、コオイムシ、ヤゴ等。魚の種類は在来も含めて外来種が多かったのが川を守ろうというものとしては残念。 申し込みが多かったので、一部の活動場所に参加者が密集しないように、3班に分け、活動エリアを限定した。魚とりの現場で講師やスタッフに魚とりのコツを教えてもらったり、捕った魚についてその場ですぐに質問をしたり、参加者に好評だった。

<p>企画名</p>	<p>手賀沼流域里山散策会</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 印西ウエットランドガイド 問合せ先 阿部 純 TEL: 0476-47-1455 Email: jun-abe-1@msi.biglobe.ne.jp ホームページ: http://www5f.biglobe.ne.jp/~yatudadayori/index.htm</p>
<p>目的</p>	<p>手賀沼流域の弁天川沿い及び江戸期に栄えた旧木下河岸付近を散策し水辺環境を知る機会とする。</p>
<p>日時</p>	<p>2017年10月7日(土) 9:30~15:45</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>・木下駅を出発、弁天川に沿って散策。その後、水辺の文学インフォメーション館、国天然記念物指定木下貝層を訪問し、木下万葉公園で昼食をとった。 ・午後は、木下交流の杜の展望デッキから利根川の全景を眺め。その後、旧木下河岸問屋「吉岡問屋の土蔵」見学と利根川土手にある木下河岸跡を訪れました。各所で野鳥や野草、昆虫などの観察ができました。特に当日は奈良時代から続いているという竹袋稻荷神社の祭りがあり、歩いている途中何度も山車に出会い、神楽舞や獅子舞を見学することができました。 ●集合 成田線木下駅北口広場 9:30 ⇒ 弁天川(厳島神社) ⇒ 水辺の文学インフォメーション館(訪問) 10:45 ⇒ 国指定天然記念物「木下貝層」見学 11:50 ⇒ 木下万葉公園(昼食) 12:15~13:00 ⇒ 木下交流の杜 13:05~13:20 ⇒ 吉岡問屋土蔵(訪問) 13:45~14:30 ⇒ 利根川土手の木下河岸跡(見学) ⇒ まとめ・解散 木下駅北口広場 15:45</p>
<p>参加対象</p>	<p>子どもから大人までどなたでも</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 16名(大人16名) 会員スタッフ 10名</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>手賀沼流域弁天川に沿って歩く</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>竹袋稻荷神社例大祭山車</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>水辺の文学インフォメーション館</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>木下貝層 解説</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>カワウ</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>吉岡問屋土蔵見学</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>旧木下河岸付近の土手下で</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前日から心配された天候も良くなり、散策日和となりました。 ・人数も手ごろで移動もスムーズで、時間にゆとりができました。 ・文学館館長や吉岡問屋の担当者、会のスタッフの解説どれも良かったです。 ・利根川土手から下りる国道の交通事情によりコースの一部を変更しました。 ・祭りの山車の舞や獅子舞をゆっくり見ることが出来、参加者は満足していました

企画名	手賀沼の源流のひとつこんぶくろ池を巡る水の旅
実施団体	団体名 印西 水と暮らしを守る会 問合せ先 竹内順子 TEL: 090-3907-8355 Email: inzaimizukura@yahoo.co.jp
目的	印西市民にとってなじみの薄い手賀沼により関心を持ち、身近に感じてもらうために、自分たちの飲み水がどこから来ているのか遡り、水の旅をする。今回は、手賀沼の源流のひとつこんぶくろ池を見学する。その後手賀沼の特定外来生物ナガエツルノゲイトウの脅威を船上から観察し現状を知る。
日時	2016年10月24日(火) 9:00~14:30
プログラム・概要・ルート等	9:00 千葉ニュータウン中央駅北口ロータリー集合 9:10 マイクロバス出発 車内で私たちの飲み水について説明 10:00 こんぶくろ池自然博物公園着 NPO 法人こんぶくろ池自然の森 古橋勲さん案内 11:15 遊覧船で手賀沼見学 (手賀沼課職員案内) 12:15 親水広場下船、水の館見学、昼食、 13:10 プラネタリウム鑑賞(20分)、買い物、散策 14:00 出発 14:30 千葉ニュータウン中央駅北口ロータリー解散
参加対象	一般市民
参加人数	一般参加 23名(大人23名) 会員スタッフ 3名



こんぶくろ池自然の森の古橋さん(黄色ベスト)による案内で園内散策



満開のゴンズイの花にうっとり



車内では私たちの飲み水の学習会



遊覧船内 手賀沼課 職員さんの解説



親水広場 水の館の
プラネタリウム鑑賞でウトウト

参加者や実施団体の感想	参加者アンケートから ・こんぶくろ池を巡る散策がとても良かった。また春、花が咲いているときに歩いてみたいです。 ・個人では得にくいお話や体験ができて、大変勉強になりました。 ・すばらしい見学会ありがとうございました。水の大切さがよくわかり、これからも水に注意をしてできるだけ環境保全に努めたいと思います。 ・説明資料等よく準備されていて、理解しやすかった。
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------